

YOKOHAMA
SOWA
CLINIC

SOWA

医療法人社団 相和会 横浜ソーワクリニック

横浜総合健診センター

受診結果を活かすために

受診後 N a v i

横浜総合健診センターで健診は受けたけれど…

検査の意味が判らない、経過をみていいのか不安など健診結果についてお聞きになりたいことがあれば、
もしもし相談室 にお電話ください。

電話は毎日30分間、医師または保健師・看護師が対応しております。

受付時間 月～土曜日 16:00 ～ 16:30 (祝日は除く)

直通電話 045 - 461 - 0177

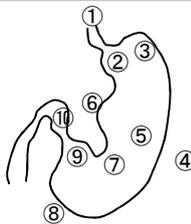
なお、個人情報保護の観点より、問われた結果に関してのみのお答えとなり、原則として受診されたご本人様からのお問い合わせにお答えすることになっておりますので、ご理解のほどお願いいたします。

また、電話ではお名前、生年月日などを確認させていただいておりますので、お手元にこの冊子をご用意ください。

検査項目の説明

※特定健康診査では基準値が異なる項目があります

	検査項目	基準値	項目の説明	
身体測定	肥満度	-10～+10%	特に太りすぎは高血圧、高脂血症、糖尿病など生活習慣病の要因となります。BMIはbody mass indexの略で、体重(kg)/身長(m) ² で表します。	
	BMI	(18.5～24.9)		
	体脂肪率	男 14.0～24.9%	体重に占める脂肪の割合で、年齢によっても変化します。	
		女 17.0～29.9%		
腹囲	男 85 cm 未満	内臓脂肪型肥満の目安となるものです。		
	女 90 cm 未満			
眼科系	眼底		眼底の血管を観察することで、動脈硬化・高血圧・糖尿病性の変化の有無やその他の異常がないか確認します。	
	眼圧	10～20 mmHg	眼球の球形を保つ圧力です。異常値の場合、緑内障・高眼圧症等が疑われます。	
	視力	0.7以上	自動視力計で通常5m視力を測定しています。	
聴力	1000Hz	30dB以下	日常生活に必要な音が聞こえるかどうかを検査します。高音域(4000Hz)の聴力は年齢とともに低下しやすくなります。	
	4000Hz	30dB以下		
肺機能	肺活量		肺や呼吸筋の能力をチェックします。喫煙や肺の病気とも大きな関係があり、特に喫煙する方は1秒量、1秒率の変化に注意する必要があります	
	1秒量			
	%肺活量	80.0%以上		
	1秒率	70.0%以上		
	%1秒量	80.0%以上		
血圧	最高血圧	129 mmHg 以下	血圧が高い人は心疾患・脳血管障害が起こる危険性が高くなります。	
	最低血圧	84 mmHg 以下		
	心電図		心臓の電気的な活動の様子を記録します。不整脈・心筋の肥大・虚血・刺激伝導異常・電解質異常などの情報が得られます。	
尿検査	PH	(5.0～7.5)	通常弱酸性を示します。食事や代謝異常・呼吸状態などにより変動します。	
	比重	(1.002～1.030)	水分摂取量、食事、運動、発汗など多くの影響で変動するものです。	
	尿蛋白	(-)	陽性であれば、腎臓、尿管、膀胱、尿道など尿路系の異常が疑われます。	
	尿潜血	(-)		
	ウロビリノーゲン	(±)	尿中の量で肝臓の障害や黄疸の種類を調べます。	
	ケトン体	(-)	糖尿病などの検査です。また脱水・飢餓状態でも陽性になります。	
	便潜血	(-)	肛門・大腸疾患など消化管からの出血がある時に陽性となります。症状が出る前の大腸がんを早期発見するために役立つ検査です。	
一般血液	白血球	3100～8499/μL	白血球数は、感染症、血液疾患、その他の疾患の影響で増減します。	
	赤血球	男 400～539 ×10 ⁴ /μL	いずれも数値が低くなると貧血が疑われます。特に血色素は血液中で酸素を運ぶ役目をしているため、これが不足すると疲れやすい・めまい・動悸などの症状が現れます。	
		女 360～489 ×10 ⁴ /μL		
	血色素	男 13.1～16.3 g/dL		
		女 12.1～14.5 g/dL		
	ヘマトクリット	男 38.5～48.9 %		
		女 35.5～43.9 %		
	MCV	男 87～102 fL		貧血の検査です。鉄欠乏症貧血で低下し、治療の指標として重要です。MCVは赤血球1個の大きさ、またMCHは赤血球1個の血色素量を示します。
		女 85～100 fL		
	MCH	男 29～35 pg		
女 28～34 pg				
MCHC	男 33～35 %			
	女 32～35 %			
血小板	14.5～32.9 ×10 ⁴ /μL	血小板数の測定は、止血能力の指標のひとつになります。		
血沈	男 10 mm 以下	亢進(高値)は炎症の存在を示します。特に慢性炎症では一般に著明に亢進します。		
	女 15 mm 以下			

	検査項目	基準値	項目の説明
肝機能	AST(GOT)	30 U/L 以下	肝臓の機能を調べる代表的な検査です。
	ALT(GPT)	30 U/L 以下	肝臓の細胞が破壊されると、これらの酵素が血液中に増加します。
	γ-GT(γ-GTP)	50 U/L 以下	アルコール・脂肪などの過剰摂取が原因で上昇します。
	LD	115～230 U/L	肝臓、心臓、腎臓などの細胞に多く含まれる酵素で、これらの臓器の障害で高値となります。
	ALP(IFCC)	38～113 U/L	肝臓・骨などに含まれる酵素で、肝臓や胆道疾患、骨折などで高値になります。
	総ビリルビン	0.2～1.2 mg/dL	肝臓や胆管などの障害を調べます。
腎機能	尿素窒素	7.5～20.0 mg/dL	腎機能が低下すると、血液中の尿素窒素・クレアチニンが上昇します。
	クレアチニン	男 0.00～1.00 mg/dL 女 0.00～0.70 mg/dL	
	eGFR	60.0 mL/分/1.73m ² 以上	老廃物を尿へ排泄する能力を示し、低いほど腎臓の働きが悪いことになります。
	尿中NAG	12.0 U/L 以下	腎障害発見の手がかりとなる検査です。腎尿細管の障害で上昇します。
電解質	ナトリウム	138～146 mEq/L	電解質は細胞の働きや、体の水分や酸度の調節に重要な役割を果たしています。ナトリウム・カリウム・クロールは腎臓病・副腎の病気、嘔吐、下痢、消耗疾患などで異常になりやすく、カルシウムはビタミンDの異常や骨の病気、腎臓病、悪性腫瘍などで変化します。
	カリウム	3.5～5.0 mEq/L	
	クロール	98～110 mEq/L	
	カルシウム	8.5～10.5 mg/dL	
脂質	中性脂肪	30～149 mg/dL	血液中の脂肪が高い状態が続くと動脈硬化を引き起こし、心疾患や脳血管障害の原因となります。
	総コレステロール	140～199 mg/dL	
	non-HDLコレステロール	149 mg/dL 以下	動脈硬化を予防してくれる善玉コレステロールです。
	HDLコレステロール	40 mg/dL 以上	
LDLコレステロール	119 mg/dL 以下	動脈硬化を促進する悪玉コレステロールです。	
糖代謝	HbA1c(NGSP)	5.5 % 以下	過去1～2ヶ月位の平均血糖値がわかります。
	血糖(空腹時)	99 mg/dL 以下	血液中のブドウ糖のことで、高くなると糖尿病が疑われます。
	尿糖	(-)	糖尿病の手がかりとなる検査です。
生化学	総蛋白	6.5～7.9 g/dL	肝臓や腎臓の障害などで体内の代謝に異常が生じると、血清蛋白の値が変動します。
	アルブミン	3.9 g/dL 以上	栄養状態や肝臓・腎臓の障害程度により変動します。
	A/G比	1.20～2.00	
	血清アマラーゼ	35～150 U/L	膵臓や唾液腺の異常で高くなります。
	尿酸	2.1～7.0 mg/dL	数値が高くなると、痛風・尿路結石・腎障害などの原因になります。
血清学	CRP	0.30 mg/dL 以下	体の中に炎症が起こっている時に高値を示します。
	RPR・TPHA	(-)	梅毒の診断に用いられる血清学検査のひとつです。
	HBs抗原	(-)	B型肝炎ウイルスに感染しているかどうかの検査です。
	HCV抗体	(-)	C型肝炎ウイルスに感染があるかどうかを示します。
胸部X線	肺		肺炎、肺結核、肺がん、肺気腫、胸水、気胸など呼吸器の疾患の有無、その程度がわかります。
	心臓		
	上部消化管X線	食道 胃 十二指腸	
	超音波検査		胆嚢・肝臓・腎臓などに超音波を当て画像化することで、腫瘍や結石の有無など多くの情報を得ることが可能です。
	診察		視診、触診、聴診で異常の有無をチェックします。

基準値は検査機関によって多少違いがあります。また、検査当日の身体の状態や食事状況によっても変動することがあります。

多少基準値からはずれていてもすぐに病気であるとは限りません。むしろ前回の検査との比較が大切です。医師はその他の検査も参考にして総合的に診断いたします。

なお、精密検査や再検査の指示が出された方は医療機関を受診してください。

再検査・精密検査受診のご案内

再検査・精密検査の指示があった方は、放置せずに必ず検査を受けましょう。
横浜総合健診センター併設の横浜ソーワクリニックで下記の検査を受けることが出来ます。
予約制となりますので、この冊子をお手元にご用意のうえ、事前にお電話にてご予約ください。

再検査予約およびお問い合わせ

横浜ソーワクリニック

受付時間

月～土曜日 8:15～16:45 (祝日は除く)

直通電話

045-461-1616

検査項目	内容	料金(概算)	
胸部精密検査(CT)	食事は摂っていただいても構いません。	5,000～6,000円	
胃内視鏡検査	絶食にて来院していただきます。なお、組織等を採取した場合は、結果説明のため再来院していただきます。	4,000～12,000円	
腹部超音波検査	絶食にて来院していただきます。 なお、医師からの説明のため、指定した日時に再来院していただきます。 要治療D1判定・要精密検査D2判定の方は、専門医療機関をご紹介します。	2,000～3,000円	
マンモグラフィ 乳房超音波検査	月経後の張りが無い時期の検査が望ましい。 要治療D1判定・要精密検査D2判定の方は、専門医療機関をご紹介します。	2,000～3,000円	
尿検査	ご自宅での早朝尿の採尿があります。	2,000円	
血液検査	肝機能	2,500～3,500円	
	糖・脂質代謝	絶食にて来院していただきます(ただし水分は、水及びお茶に限ります)	2,500～3,500円
	上記以外の 血液検査	食事制限の無いものは午後でも可能です。 検査結果が出るまでに一定の時間がかかります。	項目によって異なるため 予約時にご確認ください

- * 持参していただくもの … 健康保険証・お薬手帳 (クリニックに受診歴のある方は診察券も持参してください)
- * 検査の種類によって同時にできないものや、注意事項が異なる場合があります。予約の際、ご確認ください。
- * 上記以外の項目の再検査・精密検査は行っておりません。紹介対応となりますので当センターにご連絡ください。
- * 料金(概算)は3割負担での金額となっております。

紹介状(診療情報提供書)のお問い合わせ

横浜総合健診センター

受付時間

月～土曜日 8:15～16:45 (祝日は除く)

直通電話

045-461-1230

他機関を受診される場合は紹介状(診療情報提供書)をご用意いたします。別途料金はいただいておりません。
受診される医療機関が決まりましたら、横浜総合健診センターまでお申し出ください。